

8. 6青空共同行動への連帯メッセージ

ヒロシマに原爆が投下されてから 68 年が過ぎました。多くの人が亡くなり、負傷しました。当時に被爆した人々と被爆二世：三世たちは、今も苦痛の中で生きています。人類が開発した最新鋭の兵器がもたらしたわざわいの記憶は惨酷そのものでした。その記憶だけでも身震いするほどの歴史です。ところが私たちは今、その当時とは比べ物にならない危険な状況に置かれています。それはまさに地球上に存在する数多くの核兵器と原子力発電所です。

戦争兵器を大量に生産しながら戦争防止と平和を語っています。環境問題を語りながら原子力発電所を建設し、稼働させている最中です。嘘であり、野蛮です。今、地中上に存在する核爆弾は 68 年前にヒロシマとナガサキに投下されたリトルボーイとファットマンとは比べ物にならない規模です。地球を破壊して、人類を滅亡させる威力を持っています。それに加えてフクシマ原子力発電所の爆発が示したように、もうこれ以上、安全な原子力発電所などというものはありません。

今、国家権力を握っている者たちと資本家たちが語る核政策に対して、批判ばかりしている場合ではありません。立ち上がって闘わねばならない時です。本当の人類の平和のため、生命を救うためには核を廃棄せねばなりません。いかなる論理をもってしても、核を維持させてはなりません。帝国主義者たちが語る核の傘の平和とは侵略戦争のことです。新自由主義的な資本主義者たちが語る安くて安全な原子力発電所とは、彼らの利潤のために人類を破滅させることです。

25 年前、被爆二世の会を結成して闘って来られた日本の仲間たちのご苦勞に敬意を評します。今回、韓国で、日韓共同の「青空」集会行事を開催できたことは大変に歴史的な出来事です。単なる連帯ではなく、共同行動をすることになったのです。韓国では、左派労働者会、AWC 韓国委員会を初めとした多くの団体がこの行事を中心になって組織しています。8 月 5 日には写真展とシンポジウムを開催し、8 月 6 日には集会とデモをする予定です。今回の行事を通じて、今後アジア地域の反核運動を押し広げ、深化させていきましょう。軍事主義を排撃し、平和共同体を建設しましょう。

2013 年 8 月 6 日（火）

左派労働者会、AWC 韓国委員会 代表 ホ・ヨング